

NPO法人 森のころね

園長：松山道子

電話：080-4500-3996

FAX：-

# 森のころねようちえん

住所：高丘60-10

ホームページ：<https://www.facebook.com/profile.php?id=100064440981615>



Eメール：info.kokorone2022@gmail.com

通常保育時間 8:30~14:30

認定区分	R4年度園児数	定員	受入年齢	早朝・延長保育	給食・おやつ	アレルギー対応	午睡(昼寝)		
3号・2号	0歳児	令和5年4月開設のため、未記載としています	6名	3・4・5歳 (2歳プレ)要相談	早朝	-	＜月・火・木＞ 弁当持参  ＜水＞ あり ※子供たちと一緒に調理して食べます	適宜対応 ※ご相談ください。	なし
	1歳児				延長	-			
	2歳児				基本なし 要相談				
	3歳児								
	4歳児								
5歳児									
合計	-名	6名							

離乳食	おむつ	休日	その他
-	要相談	金・土・日・祝日	春、夏、冬の長期休みあり

利用料金	その他事業
------	-------

<ul style="list-style-type: none"> <li>入会金(入会時のみ)</li> <li>アクティブ会員 2,000円</li> <li>レギュラー会員 1,000円</li> <li>年会費(年度毎) 3,000円</li> <li>入園金(入園時のみ) 30,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域開放事業 ミナコモ</li> <li>親子で季節を感じる体験活動 一年を通して田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭(厚真町にて) ※別途要申込み</li> <li>年に数回程度、地域開放型プレーパークとして週末の親子の森遊び場を提供しています。</li> </ul>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>月々の保育料</li> <li>3・4・5歳児(週4) 37,000円</li> <li>施設維持費(毎月) 1,000円</li> <li>冬季暖房費(10月~3月) 1,000円</li> </ul>	障がい及び疑いのある幼児の受入れについて 状況に応じて対応 ※ご相談ください。
---	--

問合せ・見学について	園の特徴・保育教育方針・特色ある活動・行事等
------------	------------------------

<ul style="list-style-type: none"> <li>※その他土日祝の行事には別途参加料がかかります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苫小牧市有珠の沢町のすぐ横を流れる川沿いにある一軒家の園舎と、庭から繋がる森が園庭です。住宅街からすぐのこの森で、子どもたちは一日を過ごします。</li> <li>晴れの日はもちろん、雨の日や雪の日もウェアを来て自然のフィールドの中で遊びます。その季節のその天気のもとでしか感じられないことがたくさんあります。</li> </ul>
--	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>随時対応します。なお、活動時間中はゆっくりとお電話でお話できませんのでメールにてお問い合わせください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点の森から10分ほど歩いた場所には、子どもたちが入って遊べる浅瀬の川があります。そこでは、水辺の生き物を探したり、流れる水の感触を楽しみます。</li> <li>少人数の保育体制をとっているため、子供たちの「やりたい」の気持ちをとことん保障しながら、日々の活動を構成することができます。</li> </ul>
---	--

保護者に参加をお願いする行事
----------------

<ul style="list-style-type: none"> <li>3・4月 入園式・卒園式</li> <li>※その他、季節の親子遠足、親子登園の日を年数回予定しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の四季を感じられるよう、春の土おこしに始まる畑しごとから、季節の手しごとや木工等々の活動も行います。</li> <li>子どもたちは当園で過ごす暮らしの中で、大自然の豊富で良質な刺激により五感を耕し、自ら感じ、考え、行動する力を育てていきます。</li> <li>毎週水曜日は、調理を行います。暮らしの一部である「作る」「食べる」は、子どもたちと一緒に準備から片付けまでを行います。</li> </ul>
---	---



Instagram